

「出会う→変える」をシステムにする「新たなえにしを結ぶ会」

小田原キャンパス 三澤 眞理子

貴重なお話をありがとうございました。

この講義を受講して思ったのは、まず、世のため、人のためにこんなに尽力をされている方々が日本にはいらっしゃることでした。

とてもうれしく、活力が湧きました。

残念ながら私の周りには「人のため」と言いながら、自分の地位保全や名声を求める方が多くいらっしゃいました。

私も、産業看護師として社員さんが元気で生き生き働けるようにと色々やってきましたが、結局は自分が仕事をしたという自己満足だったのではないのでしょうか。

人と人のつながり、結びつきは無くしてはならないものですが、現在は希薄になってきています。以前に比べご近所でもあまり挨拶をしたり、助け合うような風景を見かけなくなりました。共働きが増え、お留守の家が多くなったことありますが、自分たちのことで精一杯という方もいるのではないのでしょうか。

ところが、福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」の会は、17か国6000人の方が情報を共有し、コミュニケーションを取り合い、仲間として活動されているとのこと、本当に素晴らしいことだと思います。

特に感心したのは認知症の方であれ、障がいのある方であれ、当事者がきちんと社会に参画し、自分たちの役割を果たしていることです。自分たちだけでやることは限度があり、それを支えるのが制度であり政治であると思います。その制度を作り、政治を変え、人々が暮らしやすく、自己尊厳を守りながら生きていける世の中を目指す。

えにしの会で、地位や名誉にかかわりなくファーストネームで呼び合い、平等につながり活動して世の中を動かしていることも本当にすごいことだと思います。

そのシステムを作り動かしているのがゆき先生なのですね。私もゆき先生を見習って千分の一、いや一万分の一ぐらいかもしれませんが、人との出会いを大切にして、人と人のつながり、結びつきを大事にしていきたいと思います。

今後もお身体をご大切に、お元気でご活動を続けて頂きたいと存じます。

ありがとうございました！！